

高知県版電子納品チェックシステム

利用マニュアル

Ver. 17

高知県

目 次

1. 概要	1
1-1 システムの基本機能	1
1-2 システムの機能概要	1
1-2-1 対応する要領・基準	1
1-2-2 動作環境.....	1
1-2-3 電子納品データのチェック手順	2
2. インストール	3
2-1 システムのインストール.....	3
2-2 バージョンアップ	6
2-2-1 再インストールによるバージョンアップ	6
2-4 システムのアンインストール.....	7
3. システムの使い方	8
3-1 システムの起動.....	8
3-2 電子納品データの取り込み	9
3-3 チェック機能設定	12
3-4 電子納品データのチェック	13
3-5 エラー内容の確認	14
3-6 CAD 詳細チェック	15
3-7 チェック結果の印刷	16
3-8 チェック結果のファイル出力.....	18
3-9 位置情報より地図表示.....	19
3-10 別の電子納品データを開く	20
3-11 システムの終了.....	21

1. 概要

1-1 システムの基本機能

高知県版電子納品チェックシステムは、電子成果品(CD-R 等)のデータを「高知県 電子納品運用に関するガイドライン」に従って、チェックを行う為のシステムです。

1-2 システムの機能概要

1-2-1 対応する要領・基準

高知県版電子納品チェックシステムは、「高知県 電子納品運用に関するガイドライン」に対応しています。

(ガイドラインの内容については、各ガイドラインを参照してください。)

1-2-2 動作環境

高知県版電子納品チェックシステムの推奨環境は以下のとおりです。

下記以外のOSは動作保証対象外です。

CPU	PentiumII 233MHz以上を推奨
メモリ	128MB以上(256以上を推奨)
OS	8.1(32/64bit対応)、10(32/64bit対応)
ハードディスクの 空き容量	約100MB以上(システム本体)

1-2-3 電子納品データのチェック手順

本システムを利用して電子納品媒体をチェックする手順を以下に示します。

納品データチェック対象 フォルダ選択	「フォルダの参照」画面で、チェック対象データのフォルダを選択し、「OK」ボタンをクリックすると、納品データが読み込まれます。 P9～「3-2電子納品データの取り込み」
チェック対象の選択	読み込んだ直後は、読み込まれたデータ全てがチェック対象となっています。必要に応じてチェックしたいデータのみを選択できます。 P13～「3-4電子納品データのチェック」
納品データのチェック	「チェック開始」ボタンをクリックすると、データのチェックが開始され、エラー項目がメイン画面に表示されます。 P14～「3-5エラー内容の確認」
チェック結果の印刷	「印刷」ボタンをクリックすると、チェック結果表が印刷されます。 P15～「3-6チェック結果の印刷」
チェック結果のファイル 出力	「ファイル出力」ボタンをクリックすると、チェック結果がCSV形式のファイルで出力されます。 P17～「3-7チェック結果のファイル出力」
システムの終了	「終了」ボタンまたは「ファイル」-「終了」でシステムを終了します。 P19～「3-9システムの終了」

2. インストール

2-1 システムのインストール

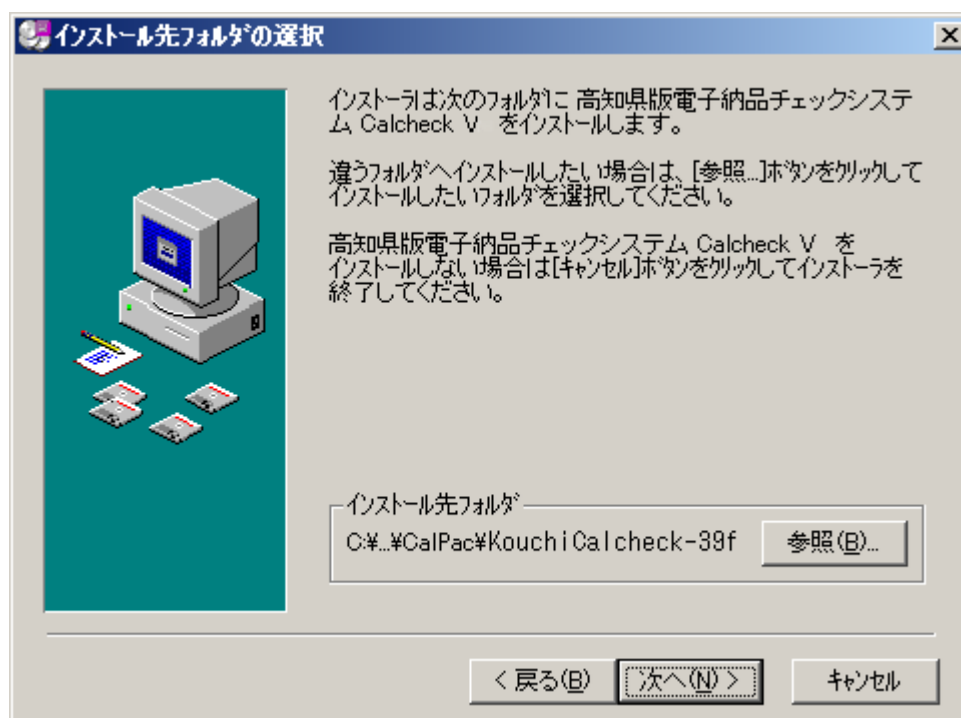
エクスプローラーでセットアッププログラム「KouchiCalCheck_free.exe」をダブルクリックして起動します。

セットアッププログラムを起動すると以下の画面が表示されるので「次へ」をクリックします。



以下の画面でシステムをインストールするディレクトリを変更する場合は「参照」ボタンをクリックして指定します。

通常はこのまま「次へ」をクリックします。



以下の画面でスタートメニューのグループ名を変更する場合は、入力します。

通常はこのまま「次へ」をクリックします。



以下の画面で「次へ」をクリックするとインストールを開始します。



以下の画面で「完了」ボタンをクリックすると、インストール完了です。



2-2 バージョンアップ

バージョンアップには、次の 2 通りがあります。いずれの場合も高知県版電子納品チェックシステムのホームページ(www.system-inn-kokusai.co.jp/kochical/)の「ダウンロード」コーナーより、必要なデータをダウンロードしてください。

2-2-1 再インストールによるバージョンアップ

【バージョン番号の 1 桁目に変更された場合】

旧バージョンのシステムをアンインストールしてから、新バージョンのシステムを改めてインストールします。

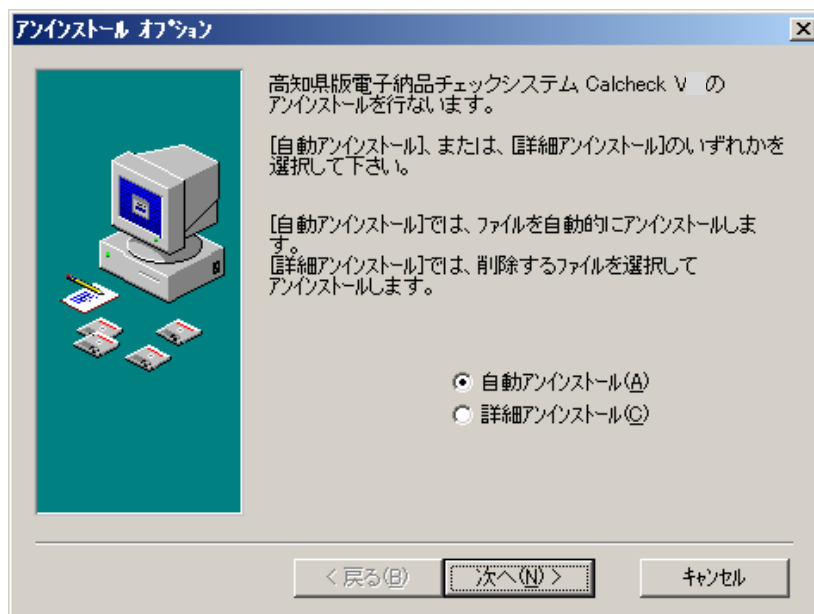
「2-1 システムのインストール」および「2-3 システムのアンインストール」を参照してください。

2-4 システムのアンインストール

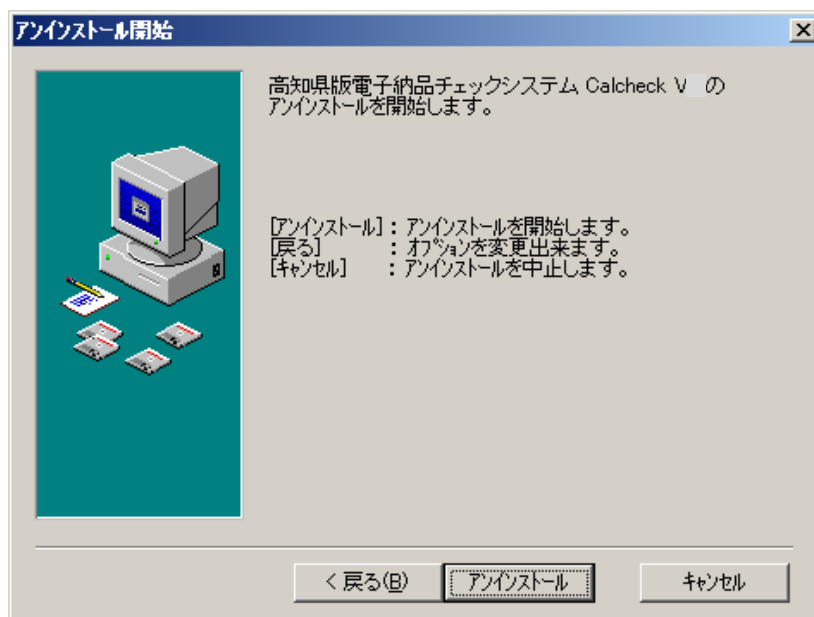
パソコンの画面左下の「スタート」メニューから「コントロールパネル」を開きます。

「アプリケーションの追加と削除」を起動し、「高知県版電子納品チェックシステム」を選択し「削除」ボタンをクリックします。

以下の画面で、「次へ(N)>」ボタンを押してください。



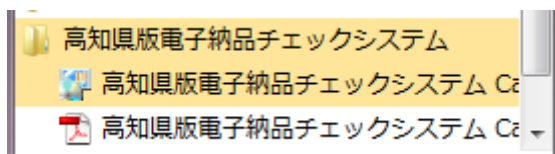
「アンインストール」をクリックすると、アンインストールを開始します。但し、インストール後にシステムフォルダ(C:\¥Program Files¥CalPac¥CalcheckV○-39f)を移動、あるいはファイルを削除している場合等は、正しくアンインストールができません。ご注意ください。



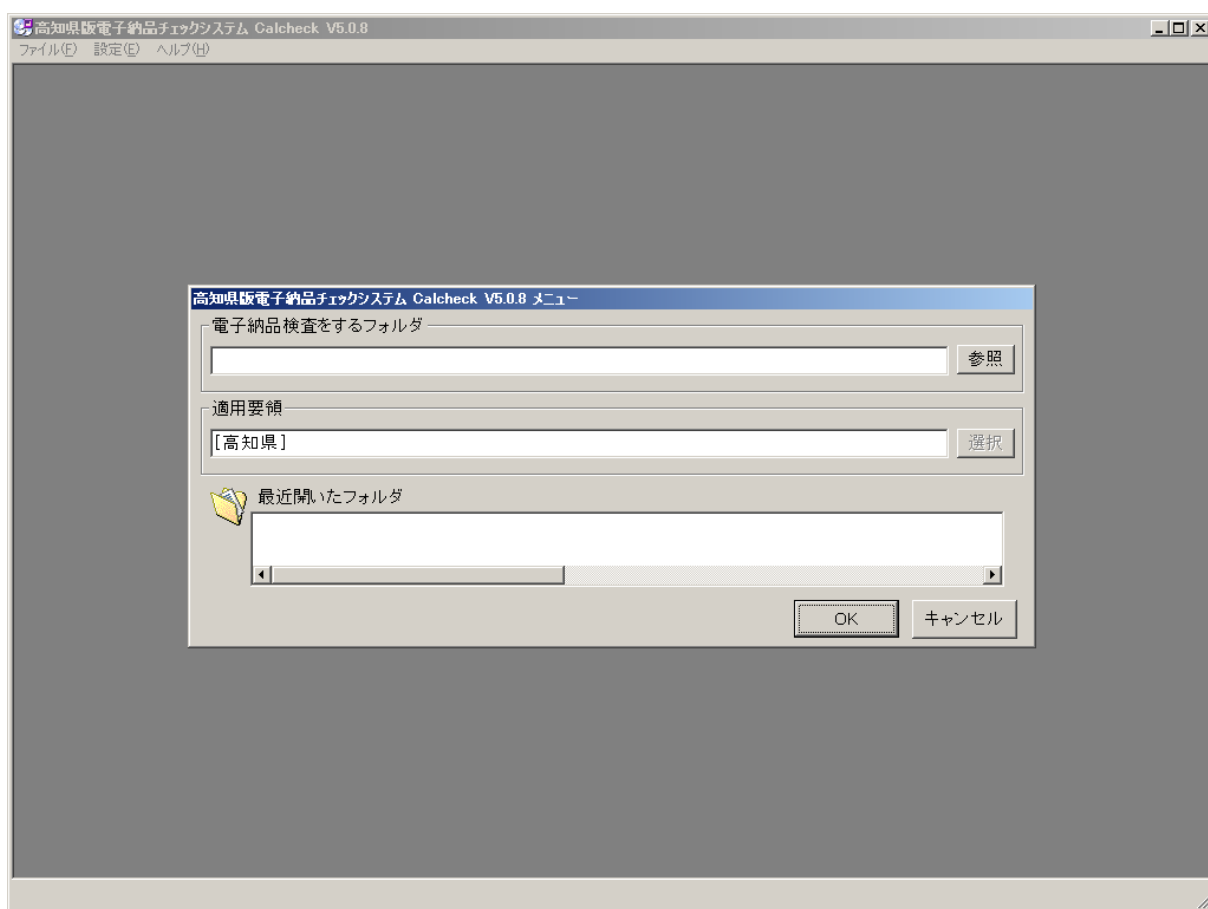
3. システムの使い方

3-1 システムの起動

1. スタートメニューから「高知県版電子納品チェックシステム Calcheck V〇〇」を起動します。

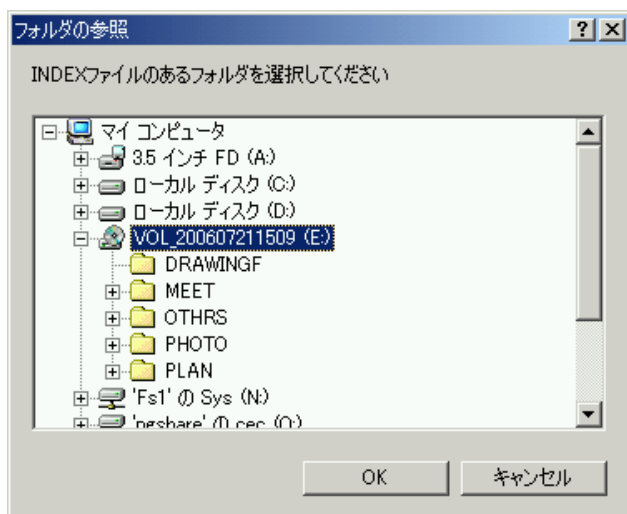


2. メイン画面と起動メニュー画面が開きます。

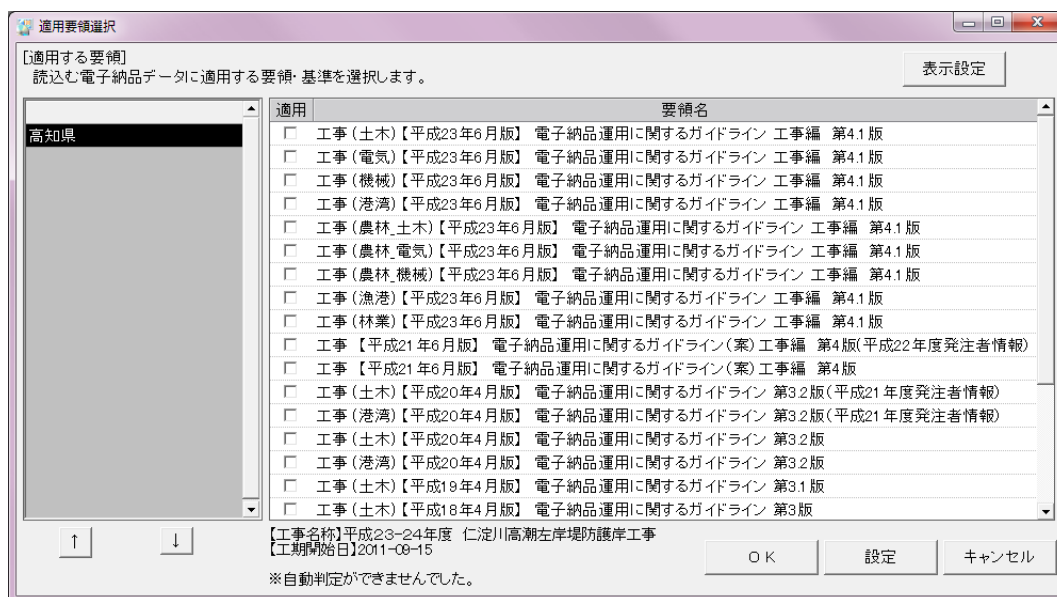


3-2 電子納品データの取り込み

1. 「電子納品検査をするフォルダ」の「参照」ボタンをクリックすると、「フォルダの参照」画面が表示されますので、取り込む電子納品データの INDEX ファイルのあるフォルダを選択し、「OK」ボタンをクリックします。

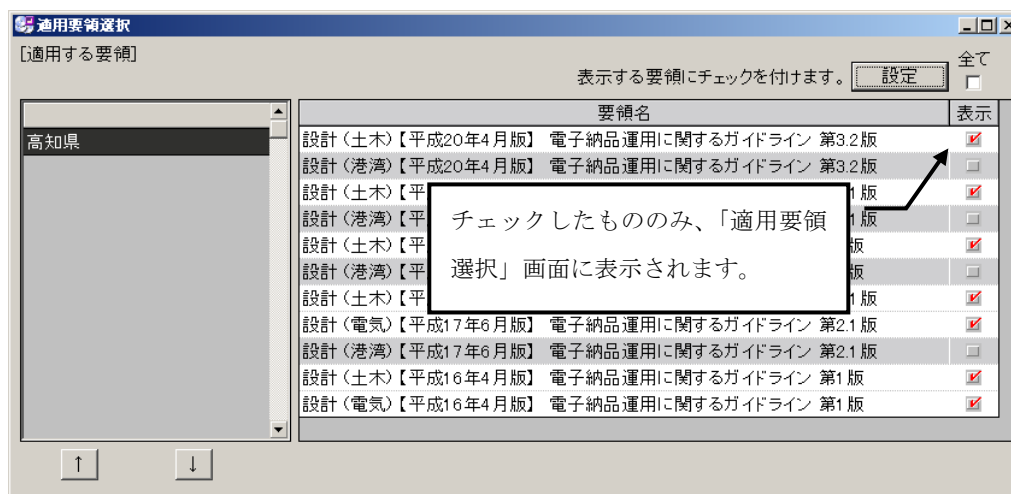


2. 「適用要領選択」画面が表示されます。「適用要領選択」画面で適用するガイドラインにチェックをつけ、「OK」ボタンをクリックします。

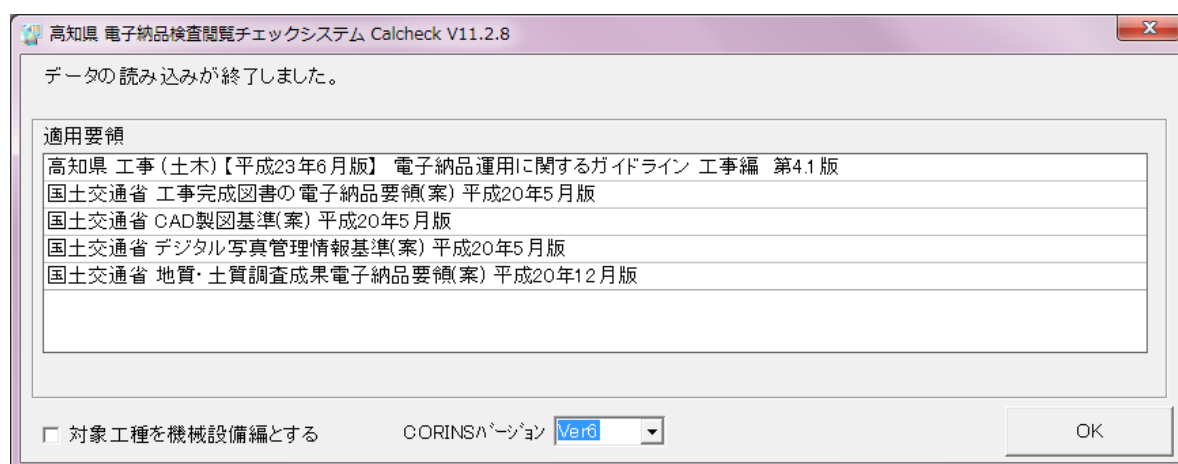


- ※「設定」ボタンをクリックすると、「Calcheck メニュー」画面に戻り、現在の設定を確認することが出来ます。

- ※「表示設定」ボタンをクリックすると、「適用要領選択」画面に表示する要領の表示／非表示を指定することが出来ます。表示したい要領のみにチェックをして「設定」ボタンをクリックします。「全て」にチェックをすることで、すべての要領に対し表示／非表示を切り替えることができます。



3. データが取り込まれ、先に設定した適用要領（工事の場合は CORINS バージョン）が表示されます。

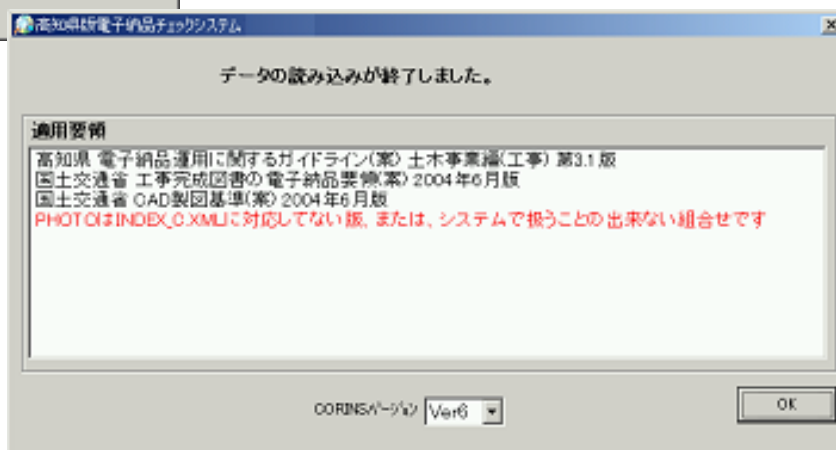


4. 「OK」ボタンをクリックします。

5. 納品データチェック画面が表示されます。



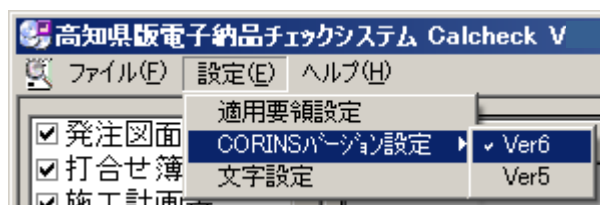
※読み込んだ電子納品データの要領の組み合わせが違っている、XML の文法が誤っている、または、読み込んだデータの要領が最新でない場合は、適用要領画面に注意メッセージが表示されます。



上図は、写真の PHOTO. XML の文法が誤っているために表示されたエラー画面です。「OK」ボタンをクリックすると、写真データ以外のデータが読み込まれます。

3-3 チェック機能設定

“工事”の場合は「設定」メニューで、チェックの際に利用する CORINS バージョンを変更することができます。



※一度設定すれば、システムを終了してもその設定は保持されます。

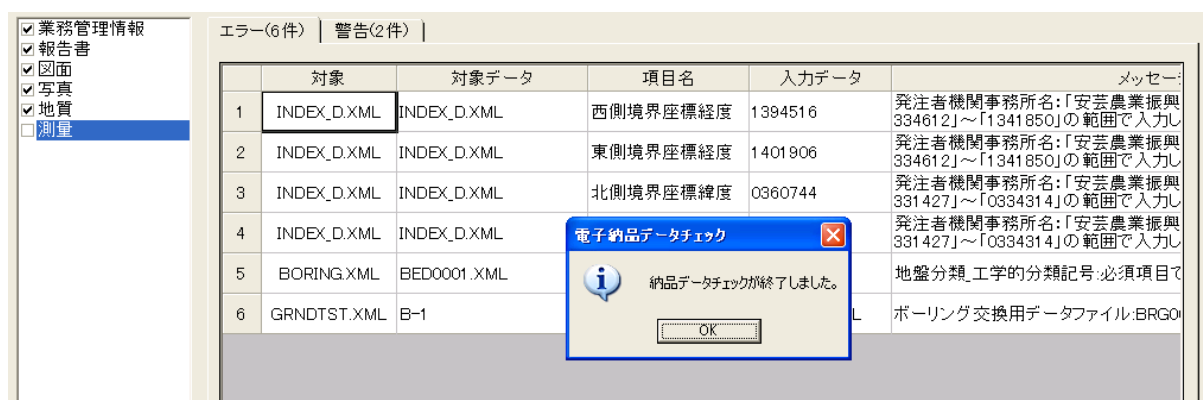
3-4 電子納品データのチェック

1. 納品データを読み込んだ直後は、読込んだ全てのデータがチェック対象となっています。
必要に応じて個別に選択できます。
例えば、写真のみをチェックする場合は「写真」だけをチェック対象としてください。

次に、「チェック開始」ボタンをクリックするとチェックを開始します。



2. しばらくするとチェックが終了し、エラーがある場合はエラー項目がメイン画面に表示されます。



3-5 エラー内容の確認

1. エラー内容を確認します。



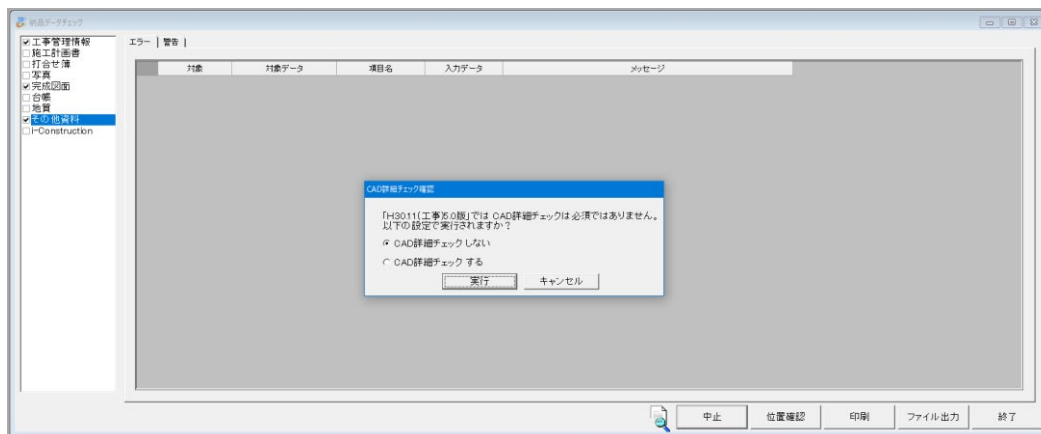
「エラー(〇件)」… チェックに掛かったエラーの一覧

「警告(〇件)」… 定められた要領で、警告に値するものの一覧

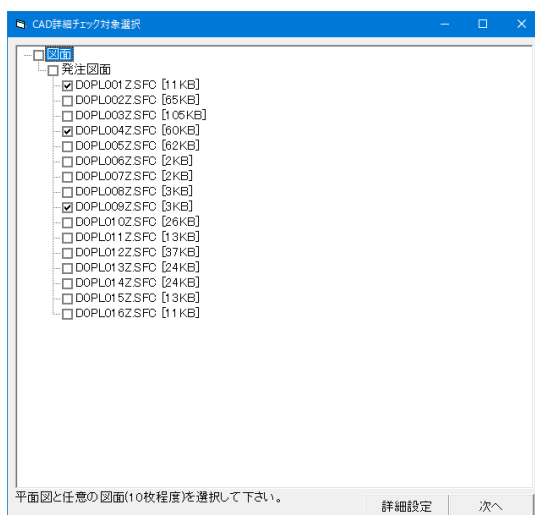
3-6 CAD 詳細チェック

高知県ガイドライン 4.1 版より、図面の詳細チェックをすることになりました。

チェックを実行すると、「CAD 詳細チェック確認」画面が表示されるので、実行するかしないかを選択して進めます。



チェックの対象を選択します。



チェック中のメッセージ（中止ボタンでチェックを中断することもできます。）

CADファイル詳細チェック中(発注図面:D0PL001 Z.SFC) 1/3

チェック結果に追加されます。

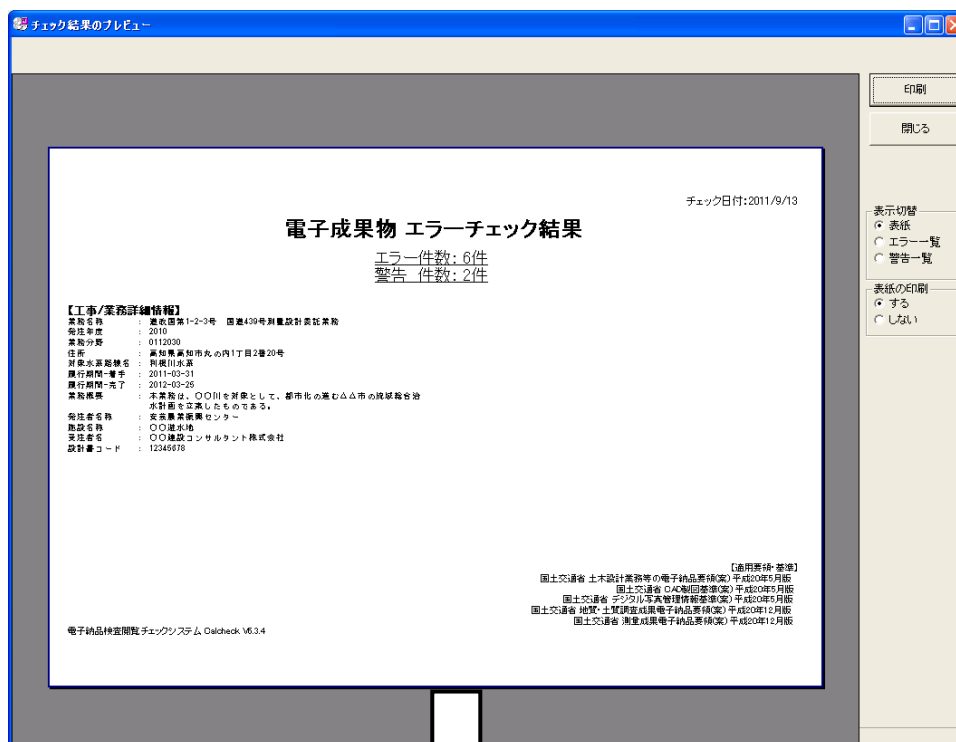
48	図面詳細チェック	D0PL002Z.SFC	レイヤ名の確認	目視確認	レイヤ名:「LAYER004」
49	図面詳細チェック	D0PL002Z.SFC	レイヤ名の確認	目視確認	レイヤ名:「LAYER005」
50	図面詳細チェック	D0PL002Z.SFC	レイヤ名の確認	目視確認	レイヤ名:「LAYER006」
51	図面詳細チェック	D0PL002Z.SFC	レイヤ名の確認	目視確認	レイヤ名:「LAYER007」
52	図面詳細チェック	D0PL002Z.SFC	レイヤ名の確認	目視確認	レイヤ名:「LAYER008」
53	図面詳細チェック	D0PL002Z.SFC	レイヤ名の確認	目視確認	レイヤ名:「LAYER010」
54	図面詳細チェック	D0PL002Z.SFC	レイヤ名の確認	目視確認	レイヤ名:「LAYER012」
55	図面詳細チェック	D0PL002Z.SFC	レイヤ名の確認	目視確認	レイヤ名:「LAYER013」
56	図面詳細チェック	D0PL002Z.SFC	レイヤ名の確認	目視確認	レイヤ名:「LAYER015」
57	図面詳細チェック	D0PL002Z.SFC	レイヤ名の確認	目視確認	レイヤ名:「LAYER016」
58	図面詳細チェック	D0PL002Z.SFC	レイヤ名の確認	目視確認	レイヤ名:「排水工追加」
59	図面詳細チェック	D0PL002Z.SFC	重複図形の確認	目視確認	「線」が重複しています
60	図面詳細チェック	D0PL002Z.SFC	線幅の確認	目視確認	線幅0.05mmが使用されています
61	図面詳細チェック	D0PL002Z.SFC	線幅の確認	目視確認	線幅0.18mmが使用されています
62	図面詳細チェック	D0PL002Z.SFC	文字の大きさの確認	目視確認	規格外の文字の高さ<0.2894>が使用されています

3-7 チェック結果の印刷

1. 「印刷」ボタンをクリックします。



2. プレビュー画面が表示されます。画面右にある「表示切替」チェックを切り替えることで表紙と明細の表示を切り替えることができます。内容を確認していただき「印刷」ボタンをクリックすると、結果内容が印刷されます。



チェック日付:2011/9/13

エラー一件数: 6件
警告 件数: 2件

委託先	東京建設1-2-3号	国道430号測量設計委託業務
実施年度	2010	
案件内容	0112000	
住所	〒新橋区新橋9-1内1丁目2番20号	
対象事業路線名	御愛川水路	
履行期間-着手	2011-03-25	
履行期間-完了	2011-03-31	
実施経緯	本事業は、〇〇川を対象として、都市部の進む△△市の環境整備と、水質を向上させるものである。	
実施内容名	本事業費管理センター	
施設内容	〇〇国水路	
委託先名	〇〇〇〇〇〇コンサルティング株式会社	
実施コード	12345678	

【適用要領・基準】
国土交通省 土木設計業務等のCAD納品要領(案) 平成20年5月版
国土交通省 C/A2製図情報基準(案) 平成20年5月版
国土交通省 デジタル写真管理情報基準(案) 平成20年5月版
国土交通省 地質・土質調査成果電子納品要領(案) 平成20年12月版
国土交通省 測量成果電子納品要領(案) 平成20年12月版

電子納品検査閲覧チェックシステム Calcheck V6.3.4

 $\Delta v_2 \approx -2$

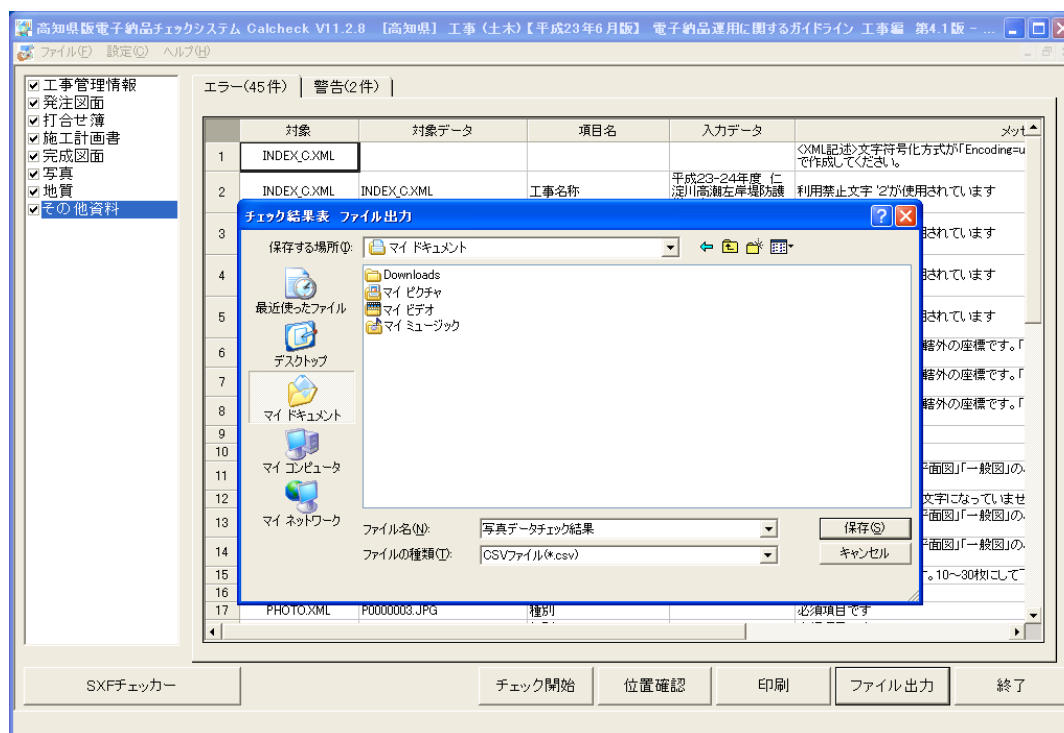
※200406-01が入力されていません。
0形勢になっていません
0形勢になっていません
カされていません。「00」、「01」のいずれかを入力してください
ています
カされていません。「0」～「3」の範囲内の値を入力してください
カされていません。「00」、「01」、「02」、「03」、「10」、「20」ください。
とを含む境界座標の範囲外になっています。

ータが入力されているか、古い発注者コードが入力されてい
りません。

17	PLAN.XML	regrea	オリジナルファイル内容	必須項目です
18	DRAWING.XML	DRAWING.XML	対象工事-数量	必須項目です
19	DRAWING.XML	SOC5001.ZPDF	作成者名	必須項目です
20	DRAWING.XML	SOC5001.ZPDF	図面ファイル名称/ソフトウェア	必須項目です
21	DRAWING.XML	SOC5001.ZPDF	縮尺	必須項目です

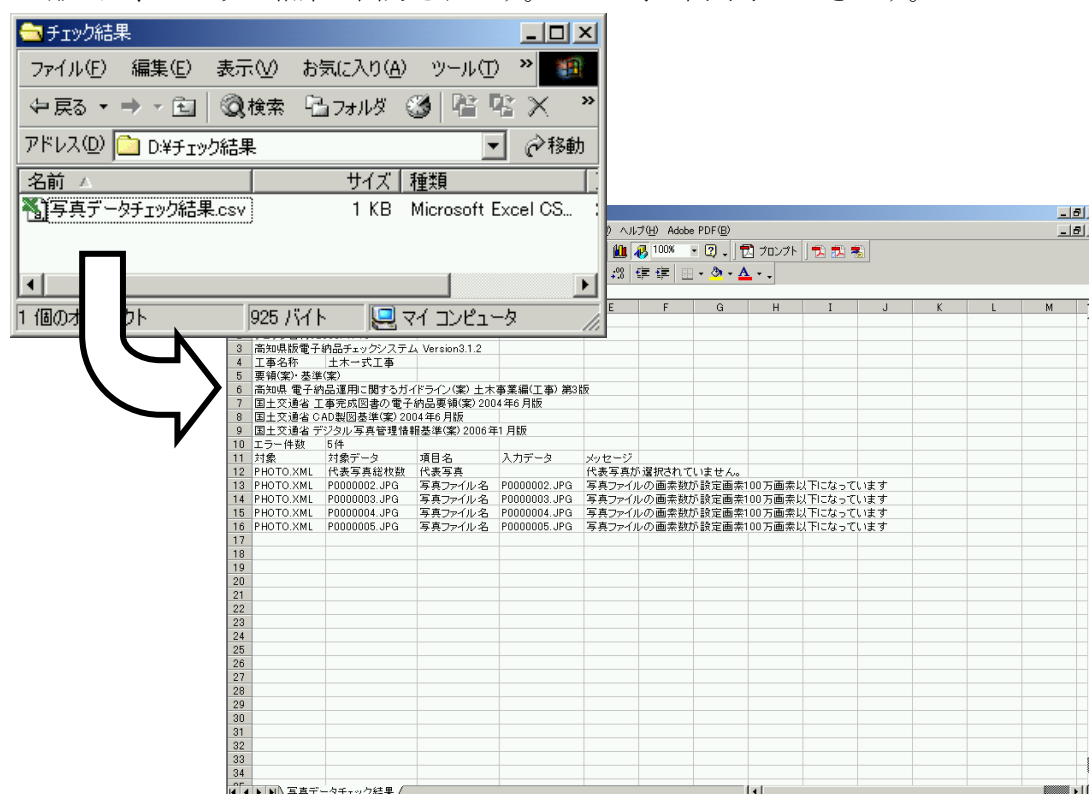
3-8 チェック結果のファイル出力

1. 「ファイル出力」ボタンをクリックします。すると、「チェック結果表ファイル出力」画面が表示されるので、保存先およびファイル名を指定して保存します。



上記例では、「チェック結果」フォルダに「写真データチェック結果.csv」というファイル名で保存しています。

2. CSV形式で、チェック結果が出力されます。Excel等で開くことができます。



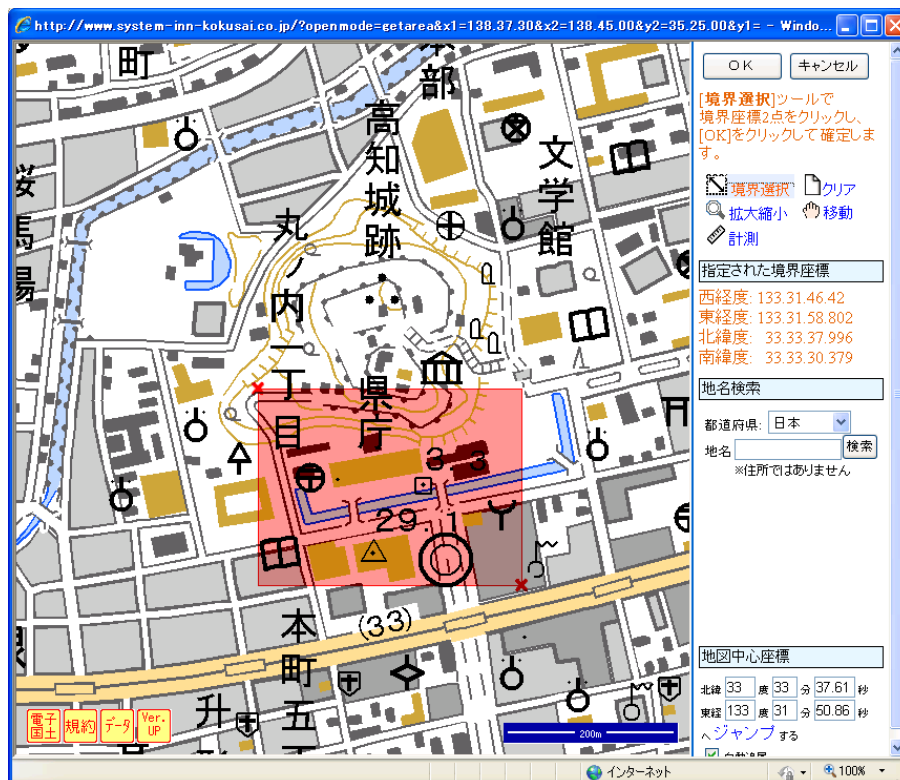
3-9 位置情報より地図表示

電子納品に格納された位置情報(緯度・経度)を管理ファイル(Index_*.XML)より読み込み、地図を表示して視覚的に場所を確認する機能です。

1. 「位置情報」をクリックします。すると、位置情報を自動取得して地図が表示されます。

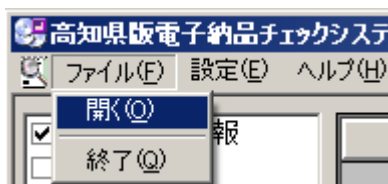


2. 地図表示

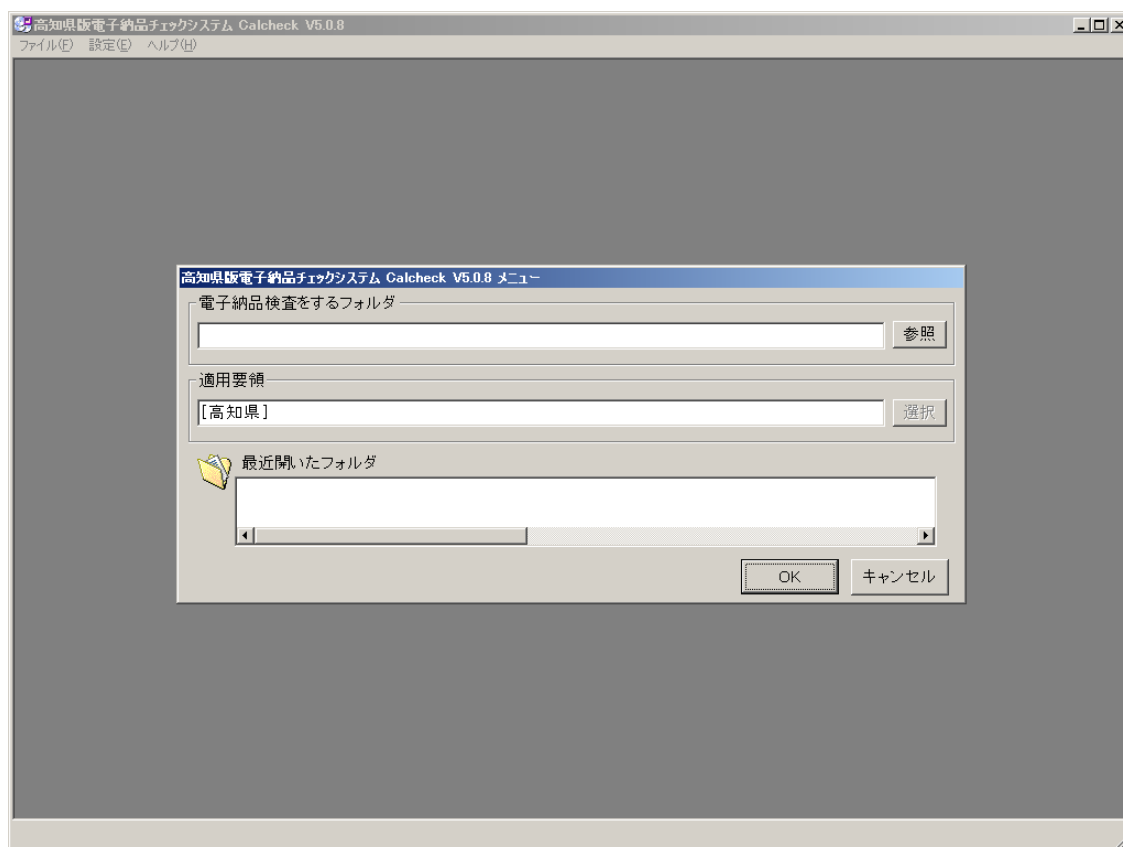


3-10 別の電子納品データを開く

1. 「ファイル」－「開く」をクリックします。



2. 今まで開いていたデータの表示は終了し、「ファイルの参照」画面が表示されます。



3. 新たに電子納品データを読み込みます。（「3-2 電子納品データの取り込み」参照）

3-11 システムの終了

1. 画面右下の「終了」ボタンまたは、メニューバー「ファイル」－「終了」のクリックで、システムを終了します。

